

事例：NHKを騙った詐欺事件（20年11月 熊本市）

熊本市に住む高齢者宅に平成20年11月、NHKの職員を名乗る者が、「地デジに変わるが何か準備はしていますか。」と訪問をしてきた。高齢者は不審に思い、ドア越しに対応。「いつもお世話になっている電気屋がある。」と言ったところ、そのまま何も言わずに立ち去った。

同日、高齢者はNHKと熊本市消費者センターに電話をし、消費者センターから当局へ情報提供があり、当局からNHKへ確認をしたところ、職員が訪問している事実はないとのことから、詐欺の疑いがあることが判明した。

事例：電気工事を騙った詐欺事件（19年1月 中津市）

平成19年1月、大分県中津市で一人暮らしの高齢者宅を30代とみられる男二人が訪れ「地上デジタル放送に伴い各家庭の電圧の検査に廻っている」と説明し、「電圧容量が不足するので工事が必要」と工事代金を請求。被害者は前金として10万円を支払ったが、約束の日時になっても工事は行われず、騙されたことに気付いた。

事例：電力会社を騙った詐欺事件（20年2月 愛知県 2件）

- 1 高齢者宅に、作業着を着た男が中部電力と名乗り「地上デジタル放送の関係で」と部屋に上がり込み、テレビ周辺を調査した後、「お金を払えばテレビと電話が無料になる」と工事代金37万6千円を請求してきた。被害者は不審に思ったが、手元にあった18万円を支払った。男は「1時間後に領収証を持参する」と言ってその場を立ち去った。被害者が中部電力へ問い合わせ、詐欺事件であることが判明した。
- 2 高齢者宅に、中部電力と名乗る男が「地上波デジタルの案内チラシを3回郵送したが、届いているか」と訪問し、「工事をしないとテレビが見られなくなる」と部屋に上がり込みテレビ周辺を調査した後、工事代金20万円を請求してきたので、手元にあった18万9千円を支払った。男は「30～40分後に領収証を持参する」と言ってその場を立ち去った。被害者が中部電力へ問い合わせ、詐欺事件であることが判明した。